

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		第4回 中央北産業遺産あり方検討委員会		
事 務 局 (担当課)		中央北整備部中央北推進室地区整備課		
開 催 日 時		平成25年3月22日(金) 13時00分～15時30分		
開 催 場 所		川西市役所 4階庁議室		
出 席 者	委 員 (敬称略)	山崎、今西、澁野、水島、畠中、西田、杉岡、坂本、酒本、枅川、 松下、岡崎		
	事 務 局	林谷		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会 議 次 第		(現地見学) 1. 開会 2. 経過報告 3. 川西中央北産業遺産あり方検討委員会報告書について 4. 意見交換		
会 議 結 果		別紙の通り		

第4回中央北産業遺産あり方検討委員会における意見整理

中央北産業遺産あり方検討委員会報告書案に関する意見

- ・ この委員会での議論の結果がこの報告書になるかと思うが、次年度以降この検討結果が反映され、何らかの担保となるように取りまとめた方が良いだろう。
- ・ PFI事業の要求水準に追加を行うことで、利用の提案を受けることも可能かと思う。
- ・ せせらぎ遊歩道、火打前処理場、中央公園それぞれの接点を見つける必要がある。せせらぎ遊歩道は「川の流れ」、処理場は「水処理」、中央公園は「モニュメント」ということがキーワードになるだろう。それぞれが三位一体となる必要があるので、きちんと仕切り直すタイミングが必要だろう。
- ・ 地区の歴史が何らかのエッセンスとなって、まちづくりに発展すれば良いかと思う。
- ・ せせらぎ遊歩道の計画は、かなり盛りだくさんな計画になっている。公園の計画の際には、無理のない調整を行うことになるかと思う。

部材の活用方法に関する意見

- ・ 管理棟にあった説明のパネルは、好奇心の引き金になるような仕掛けになるかと思う。
- ・ 建物がなくなることで、地形を改めて感じる事ができた。場所性、歴史性を思い出すことのできる展望台、盛り土などの可能性があるのではないかと思う。
- ・ 部材の残し方については、社会見学やオリエンテーリングなどのプログラムを作るきっかけにできれば良いかと思う。
- ・ 手すりの活用についても、ペンキ塗りのワークショップを市民と行うことも考えられるだろう。
- ・ 活用については、今後詳細を検討していくことになるかと思うが、コンパクトに加工することも検討する必要があると感じた。
- ・ 個人的には残すことに大賛成だが、管理を行う側からすると、どこまで残すのが良いのかと感じた。
- ・ 煙突は少し埋めて、展望台のような活用があるのではないかと思う。
- ・ パネルを東屋の天井などに埋め込むことも考えられるだろう。
- ・ 公園の案内板を、操作パネルのようなモザイク形式で作成するというアイデアもあるだろう。
- ・ 鷹取駅の活用の事例は、ここにこのようなものがあったというインパクトとして素晴らしいものである。またインパクトがなくとも、さりげないデザインの処理で歴史をつなぐことも重要である。
- ・ どのように活用できるのかではなく、今ある部材でベンチを検討してくださいという方法もあるかと思う。

報告書については、本日の意見を踏まえ、事務局で修正を行い、委員長に確認を行う。委員には後日、連絡する。